

2022 年 1 月_中古車市場の動向

■オークション市場の動向

■ 出品台数

1 月のオークション出品台数は前年同月比 1 割程度の減少となり、6 ヶ月連続でマイナスとなった。
半導体不足や新型コロナウイルス感染症再拡大による部品供給の停滞が依然続いており、新車の減産や生産調整のため下取り車両が少なく、各会場の出品車両の集荷に大きな影響を及ぼしている。
今後も下取り車両の減少は当面続くと予想され、タマ不足の解消には時間を要すものと思われる。

■ 落札台数

1 月の AA 落札は、前年同月比 1 割程度の減少となった。12 月は 7 ヶ月振りにプラスとなったが、再びマイナスとなった。
昨年 7 月下旬くらいより全体的なタマ不足となり、各会場とも成約率が高く、相場も高いことで落札しづらい状況が続いている。

■ AA ワンプラ落札台数

1 月の AA ワンプラ落札は、前年同月比の 3 割減となり、5 ヶ月連続でマイナスとなった。
オークション出品台数の減少や相場の高騰と高成約率により AA ワンプラへの出品台数の減少が大きく影響した。今後も出品台数の確保は厳しい状況であろう。

■共有在庫市場の動向

■ AS ワンプラ（共有在庫）出品台数

1 月末現在の出品台数は、前月末に比べ 0.8 万台程度のマイナスとなり厳しい状況となっている。2 月に入っても出品台数は伸び悩み、何とか現状を維持している状況である。

■ AS ワンプラ（共有在庫）落札台数

1 月の AS ワンプラ落札は、前年同月比 1 割強の増加となり、5 ヶ月連続でのプラスとなった。
オークション会場での落札が容易ではない状況もあり数字を積み上げた。中古車市場も共有在庫（ワンプライス）からの仕入れが多くなったとはいえ、今後の出品台数の動向に注視したい。